

【 第7回 女子ユース世界選手権 】

2018年8月7日～19日

開催国 : ポーランド ・ 都市 : キエルツェ

試合結果報告 8 月 12 日 (日)

JAPAN	VS	NOR(ノルウェー)
13	前半	14
10	後半	15
	第一延長	
	第二延長	
23	合計	29

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	千葉 夏希	—	—	—
2	橋口 和佳奈			0
4	辻野 桃香		1	1
5	阿部 美幸	1	2	3
6	伊藤 愛莉	3	2	5
7	服部 沙也加			0
9	安田 つぐみ			0
10	岡田 彩愛	3		3
12	榊 真菜			0
13	抜水 うらら	—	—	—
14	平野 宗香	1	2	3
15	谷藤 悠	3	1	4
16	柿添 まどか			0
17	紅林 詩乃		1	1
18	江本 ひかる			0
19	宇治村 唯			0
20	守屋 葵		1	1
21	上田 遥歌	2		2
	合計	13	10	23

戦評

日本の第4戦はノルウェーとの対戦。開始早々相手のNo.22に強烈なアウト割りを決められるが、すかさず日本も伊藤のミドルで応戦。その後相手に2連取されるが、ここから日本のDFが機能する。平野、守屋、上田、谷藤の積極的なDFからカットや、GK榊のナイスセーブ、谷藤のサイドもあり、一気に7連取し8-4とリードする。9-5とした14分過ぎにノルウェーがチームタイムアウトを要求、ここから相手が日本の積極的なDFに対応してくる。ジリジリと点差を縮められ、27分ついに逆転され、前半を13-14で終える。

後半、日本はOFでミスを連発。その間に相手に3連取されてしまう。離されたくない日本は、紅林を投入し7人攻撃を仕掛ける。GK柿添のナイスセーブもあり、点差を縮めたい日本だったが、ノーマークは作るがシュートを決めきることができない。平野、岡田、阿部のナイスカットから速攻で応戦するも23-29でタイムアップとなった。

ロシア戦の経験が今回DF面で積極的に仕掛けられた要因である。あと一步踏ん張れば、もうひと波もふた波を呼び寄せられたゲームただけに悔しさが残る。

この試合の日本のMVPは谷藤悠が獲得した。

報告記入者 :

安藤 希沙